

こんにちは、SSH 推進委員会です。SSH 推進委員会は富田林中学校・高等学校のSSH の取組みを企画・実行する委員会です。**富田林中学校・高等学校は 2017 年度に文部科学省より SSH 第 1 期の指定を受け、2023 年度から5年間 SSH 第 II 期に採択され、現在はSSH第 II 期2年めです！！**このSSHNEWS はSSH の取組みの紹介や、大学の研究室訪問などの**研修の案内**を掲載します。今年度第 1 号となる今回は SSH とは何か、そして具体的な活動の紹介を掲載します。

## Q. そもそもSSHって何？

## A. Super Science High schools の略称です！

SSH 指定校は、科学技術系人材育成のため、各学校で作成した計画に基づき、①**独自のカリキュラムによる授業**や、②**大学・研究機関などとの連携**、③**地域の特色を生かした課題研究**など様々な取組みを積極的に行う。

## Q. 実際SSHの活動って具体的にはどんなことをしているの？

### ① 独自のカリキュラムによる授業

⇒高校では教科として**探究**を設定して、**1年次はグローバル探究Ⅰ、2年次はグローバル探究Ⅱ、3年次はグローバル探究Ⅲ**を行っています。

**探究とは**…自己の在り方・生き方を考えながらよりよく課題を発見し解決していくこと

探究の時間は個人または班で課題（テーマ）を設定し、その課題（テーマ）を解決するためにはどうしたらよいかを自分たち自身で考え、検証する時間です。

### ② 大学・研究機関などとの連携

- ・訪問研修：大阪大谷大学調剤体験・理化学研究所計算科学研究センター・  
京都大学水族館・近畿大学白浜実験場
- ・大 学：大阪公立大学理学部や大阪大谷大学等の研究室訪問・  
探究活動について指導助言
- ・講 演 会：大阪大学工学部教授 紀ノ岡教授「iPS 細胞の培養についての取組」  
関西大学化学生命工学部 竹下教授「未来を切り拓く水素エネルギーシステム」  
京都大学フィールド科学教育研究センター 山守助教「海洋生物の『共生系』の世界を探検」  
大阪大学基礎工学部 中西教授「CO<sub>2</sub>を資源に変える技術」

### ③ 地域の特色を生かした課題研究

⇒大学・企業・行政機関など多数の団体を招き、「地域の人との交流」や「パネルディスカッション」「科学実験教室」を実施する『**とんこう地域フォーラム**』を毎年3月に開催しています。他にも**海外交流**や**大阪サイエンスステイ**をはじめとする様々な発表会に参加し、優秀な結果をおさめています！！

